

安倍政権誕生

改革の目玉は「再チャレンジ」

初の戦後世代の首相

9月26日、衆参両院本会議の首相指名選挙で、自由民主党の**安倍晋三**新総裁が**内閣総理大臣**に選出されました。戦後生まれとしては初めての首相であり、国民的人気を背景にそのリーダーシップが期待されるところです。

安倍総理が先導してきた「再チャレンジ」

「ポスト小泉」を争う自民党総裁選挙で安倍氏は、「美しい国、日本。」をテーマに、新憲法の制定や教育改革などを訴え、党所属国会議員や党員の圧倒的な支持を得ました。その政権構想の柱のひとつとして掲げられたのが「再チャレンジ」です。

現在、**格差社会の是正**が政府の課題となっていますが、安倍総理は、内閣官房長官時代の今年3月に、自らを議長とする「**多様な機会のある社会推進会議（再チャレンジ推進会議）**」を官邸に立ち上げ、5月には「中間取りまとめ」を策定しました。

また、新内閣でも新たに「**再チャレンジ担当大臣**」を置くなど、日本経済を活性化させる鍵としても強い意欲を示しています。

（裏面に続きます）

安倍氏政権構想（抜粋）

【誰もがチャレンジ、再チャレンジできる社会の実現】

努力した者が報われ、勝ち組、負け組が固定しない社会
働き方、学び方などの複線化で、多様な生き方と、チャンスに
あふれる日本の実現

女性や高齢者などのより積極的な雇用の促進
テレワーク人口を倍増させるなど、従来の勤労価値観を超えた
働き方の見直しを推進

安倍内閣がめざす再チャレンジ支援の具体策

再チャレンジの機会を求める人々は、年齢・性別を問わず、その内容も多種多様です。その世代に応じたきめ細やかな支援が必要となってきます。

◆**若者**◆ 就職活動に失敗し、転職を繰り返す「年長フリーター」が増加しています。採用年齢の引き上げや中途採用枠の拡大などを企業や官庁へ働きかけたり、法律を整備することによって、新卒者以外にも採用の門戸が広がるようにします。

また、格差が固定化しないよう、家庭の経済力に関わらず、子どもが放課後や休日に学習できる機会を提供します。

◆**現役世代**◆ パート労働者が正社員になれる制度を充実させたり、出産や育児で離職した女性やリストラ等による退職者が再就職しやすい環境を整備したりします。

また、事業に失敗した経営者が再び創業する際に資金調達が受けやすくなる融資制度の創設や、社会人でも大学で学び直しができる教育コースや講座を開設する支援をします。

◆**高齢者・団塊世代**◆ 現役世代の経験を生かすために小中学校に派遣したり、簡易な資格制度を創設したりするなどして、高齢者の活躍の場を拡大します。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL：045（323）6000 FAX：045（323）2974

E-mail：g00833@shugiin.go.jp <http://www.hachirou.com>